 Copyright 2000 Logos Internet Ministry

教会史－１９世紀まで

初代教会

313　キリスト教公認
325　ニカイア公会議
787　第二回ニカイア公会議

西ローマ帝国 ― ローマ
東ローマ帝国 ― コンスタンチノポリス ― ビザンチン

国家との分離
反教理
幼児洗礼の否定
霊、倫理に重点

聖書のみ、信仰のみ
内的教会（霊的交わり）と外的教会（制度的。説教と聖礼典）
会衆讃美

西方教会 ― 1054　分裂 ― 東方教会

ローマ・カトリック
外面と内面の全般的改革
ミサ、讃美歌、オルガンの廃止
人文主義、契約神学

みことばと聖礼典
神の主権
教理と教育
規則、長老制

正教会（オーソドックス）
ギリシャ正教　ロシア正教

中道（カトリックとプロテスタントの中間）
会衆派
（次第に勢力を増す）
長老派
監督派

1517　ルターの 95 か条

フランス　北欧　ドイツ　スイス　イングランド　スコットランド

ルター
聖餐論
ツヴィングリ（チュウリッヒ）
カルヴァン（ジュネーブ）

人文主義的宗教改革の挫折、迫害
ルーテル教会（国教会）
迫害
1523　再洗派（アナバプテスト）
迫害
改革派（長老派）教会
影響
1536　独立
Great Bible（公認）
ジョン・ノックス

１６C
カルヴァン亡命
メランヒトン
アウグスブルク信仰告白
1524 農民戦争
1525　分離
「キリスト教綱要」（1536）
ジュネーブ信仰問答
ジュネーブ詩篇歌
ジュネーブ訳聖書
英国教会（アングリカン）
1560
スコットランド宗教改革

ユグノー（改革派）
1562―98
ユグノー戦争
迫害、亡命
1598
ナントの勅令
1562　アメリカへ
1555
アウグスブルグ宗教和議
メランヒトン派
ドイツ内の改革派
接近
メノナイト
影響
1571
オランダ
分離派、独立派
ピューリタン
1567
1578 長老主義
1581 国民契約

1580　和協書
メランヒトン派締出し
教理の凍結
ハイデルベルク信仰問答（1563）
アーミッシュ
メノナイト
平和、敬虔主義
オランダ宗教改革
アルミニウス派
1610　予定論論争
カトリック回帰派.vs.ピューリタン
クエーカー（フレンド派）
1611　欽定訳聖書

1618 - 1648
30 年戦争

正統主義（信仰の知的防衛）
→形骸化　→　敬虔主義

シュペーナー
異端視
敬虔主義はドイツで発展
フランケ
1612バプテスト
1638 国民契約

１７C
生活、実践の重視
宣教団体の誕生
1648　スイス独立
スイス一致信条（1675）
1648　オランダ独立
アルミニウス主義
カルヴァン主義
1642 ピューリタン革命
1649-1660　宗教的自由
ウェストミンスター信仰告白（1647）

1685 ナントの勅令廃止
ユグノー再び迫害
亡命
1620
アメリカ
1639
改革派
会衆派
バプテスト
長老派
1689　名誉革命
非国教会容認
強硬な長老派、アイルランドに追放

１８C
啓蒙思想の影響
→合理的キリスト教
ツインツエンドルフ
モラビア兄弟団
（ヘルンフート派）
敬虔主義
万人祭司、聖書重視、聖化、完全
影響
ジョン・ウエスレー
1707　イングランドと統合
メソジスト
1738
リバイバル
ホイット・フィールド

敬虔主義
シュライエルマッハー
体験の神学
1775-1783 独立戦争
1784
メソジスト教会
ウエスレアン
カルビニスチック
万人救済
予定論

1789　フランス革命
自由主義神学の台頭
自由を求めてアメリカへ
1825
ホリーネス運動
1827
プリマス・ブレザレン
1845
オープン
エクスクルーシブ
エバジェリカル派
1845 結成
1847　アメリカへ
エバンジェリカル・アライアンス
1843
スコットランド自由教会分離

実存主義
キルケゴール
(1813-55)
改革派
1817
ルター派と改革派との合同
1857/59　リバイバル
D.L　ムーディー
メソジストから
1877
救世軍
1875～ケズイック・コンベンション

リバイバル
→福音主義
根本主義
１９C
自由教会運動
→国家との分離
バプテスト教会
敬虔主義への迫害
1830 イギリス敬虔主義
アメリカ、ドイツバプテスト
ハウゲ（巡回伝道）
1878
カベナント教会
非国教会化
会議聖、長老制の導入
1861-1865 南北戦争
自由教会
イギリスのバプテストとメソジストによる。
国際的、超教派、福音主義
外国宣教
ペンテコステ運動
ディスペンセーショナリズム
スコットランド、スイス、オランダ自由教会はカルヴァニズムへの復帰